同窓会入会式

272人が新たに仲間入り

令和2年度同窓会入会式が3月2日、母校体育館で行われた。新たに入会したのは翌日に卒業式を控えた卒業生272人。須磨武さん（昭和60卒）が司会を務めた。

中村順子副会長

最初に、銭谷眞美会長の歓迎の言葉を中村順子副会長が代読。銭谷会長は、入会を歓迎するとともに第28代校長鈴木健次郎氏の「汝、何のためにそこにありや」の言葉と、それを道しるべとして活躍する同窓生について言及し、「皆さんも秋田高校での3年間で学んだことを糧とし、これから大人として歩む道を豊かなものにしていってほしい」と、新入会員にはなむけの言葉を贈った。さらに中村副会長から若菜会の紹介があった。昭和29年の設立から種々の変遷を経て、昨年、新たな若菜会が設立されるまでの経緯について説明し、秋田のために、日本のために、世界のために、ますます秋高女子が活躍できるよう、応援していきたいと、励ましの言葉を贈った。

続いて、平成9年卒で、秋田スズキ専務取締役である石黒佐太朗さんが新入会員に激励の言葉を贈った。石黒さんはまず「皆さんは、なぜ秋田高校に進学し、なぜ4月からの進路を選択し、何を成そうとしていますか」と問いかけ、スライドを用いながら自らの高校生活やこれまでの人生を振り返りつつ、「『何をするか』も大事だが、『何のためにするのか』という目的も大事であり、それを見失わずにいれば、失敗も成長や成功につながる」「どうせやるなら面白く、どうせやるならかっこよく、どうせやるなら全力で。皆さんの未来は絶対に明るい。苦労もたくさんあるが、一歩ずつ、成長しながら乗り越えていき、明るい未来を切り拓いてほしい」と、後輩たちの新たな旅立ちを祝福した。

その後、中村副会長から記念品を受け取った新入会員代表の那須明日美さんが、学食の復活やエアコンの導入など、在学中の同窓会からの支援に感謝の言葉を述べ、「これからは私たちも同窓会員として、尊敬する先輩方と同じく後輩たちをサポートする立場となります。まだまだ未熟な身でありますので、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします」と、入会にあたっての抱負を述べた。

翌3日に卒業式が行われた。例年3月1日に行われている卒業式であるが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、国公立大学前期試験を県外で受験した生徒が、3日間の自宅待機を経てから卒業式に参加できるようにと、日程を変更し行われた。昨年は保護者の参加が認められなかったが、今年は生徒1人につき1人という制限付きながらも参加が認められ、温かな雰囲気に包まれながら卒業生たちは学び舎を巣立った。

那須明日美さん

石黒佐太朗さん

令和3年度教職員人事異動

退職		転出先
教諭	茜谷信也	秋田中央高校（再任用）
主幹(兼)事務長	佐藤恵美子	農業科学館専門員(再任用)

転出		転出先
副校長	伊藤　真	西仙北高校校長
教頭	山城寛幸	小坂高校
教諭	中嶋修子	五城目高校
教諭	太田伸子	男鹿海洋高校
教諭	三春智弘	教育庁生涯学習課学芸主事
教諭	髙橋　健	秋田北高校

教諭	佐々木充宏	西目高校
教諭	山田　晋	秋田中央高校
事務長補佐	黒澤桂一	由利工業高校事務長
主事	金　吏子	県スポーツ振興課
臨時講師	加賀智大	西目高校非常勤講師
臨時講師	高橋　奨	秋田中央高校
非常勤講師	松本　勉	任期満了
非常勤講師	桃井苗子	任期満了
非常勤講師	立花秀子	任期満了

転入		転入元
副校長	倉田寛行	生涯学習センター副所長
教頭	浅野博之	六郷高校
教諭(再任用)	吉原東吾	男鹿工業高校
教諭(再任用)	鈴木修一	生涯学習センター所長
教諭	野呂耕一郎	市立秋田商業高校
教諭	齊藤真一	西仙北高校
教諭	武石知也	本荘高校
教諭	三浦藍子	大館鳳鳴高校
教諭	奈良紳也	大館国際情報学院高校

教諭	藤井　翼	大館桂桜高校
主幹(兼)事務長	長岐　亮	教育庁義務教育課主幹(兼)班長
事務長補佐	村松伸彦	秋田明徳館高校
主事	仲谷優衣	大館市立東中学校
臨時講師	佐藤好貴	横手清陵学院高校
臨時講師	和田宏哉	大館国際情報学院高校
非常勤技師	細田　伸	新屋高校